

SSS011-P01

会場:コンベンションホール

時間: 5月27日17:15-18:45

山陰地方の温泉観測ネットワークにみられる地震による水温・水位変化について

Coseismic temperature and level change of hot spring water observed in San-in district

桑野 祐一^{1*}, 香川 敬生¹, 野口 竜也¹, 西田 良平², 渡辺 邦彦³, 小泉 尚嗣⁴

Yuichi Kuwano^{1*}, Takao Kagawa¹, Tatsuya Noguchi¹, Ryohei Nishida², Kunihiko Watanabe³, Naoji Koizumi⁴

¹鳥取大学, ²放送大学, ³地震情報研究会, ⁴産業技術総合研究所

¹Tottori University, ²The Open University of Japan, ³Seminar for Earthquake Information, ⁴Geological Survey of Japan, AIST

2000年鳥取県西部地震後の2002年より山陰地方では15地点の温泉水の水温(0.01°C精度)・水位観測を実施している。西田他(2009)によって、そのうち数地点における地震後に水温変化について、変化量と地震の特徴との関連性について調べている。また、地震後の変化以外にも一定のトレンドを持った変化についても、深部地殻のストレス場の状態との関連性を指摘している。本研究では、これらの変化について定量的な評価を行うために相関係数やARモデルを用いた数値解析を試みた。また、ネットワーク内の数点で水位・水温の変化が連動していることが判明し、その分析を行った。

キーワード:温泉,水温変化,水位変化,地震,山陰地域

Keywords: hot spring, water temperature change, water level change, earthquake, San-in district